



発行 社団法人 日本品質管理学会
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
 ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス 信頼性・安全性計画研究会の活動報告
- 2-私の提言 科学的先手 (SENTE) 管理のすすめ
- 2-新規ワークショップ申請受付/3月入会者紹介
- 3-ルポルタージュ 第112回講演会ルポ/行事案内/論文募集
- 4-事務局からのお知らせ/選挙告示

信頼性・安全性計画研究会の活動報告

筑波大学 伊藤 誠

信頼性・安全性計画研究会は、品質と安全性に関するトラブルが様々な分野で発生してきた社会情勢を踏まえ、2006年に発足したものである。参加メンバーは、品質管理、信頼性工学、ヒューマンファクター、等々様々な分野から産学の技術者、研究者が集結している。会合はほぼ月に1回、定期的で開催し、信頼性・安全性を確保するための活動の体系化と具体的な方法論の開発などについて取り組んでいて、第1期の成果は品質誌38巻第4号において特集記事としてまとめられている。現在、2期目の最終年度である。

第2期では、次世代品質信頼性情報システム (Quality and Reliability Information System:QRIS) のフレームワークの体系化と、具体的な方法論の構築に重点を置いて2009年11月より活動を開始した。基本的な考え方については、活動報告の第1報として第92回研究発表会で報告しているが、概略としては、製品の稼働状況をリアルタイムにモニタリングし、シミュレーションに基づいて故障の予測を行い、顧客別にきめの細かいリスクコミュニケーションや保全を行おうとする、次世代型の品質・信頼性確保のフレームワークである。

ところが、活動を開始して早々、製品の安全性に関するリコール問題が

様々な分野で顕在化するところとなった。これをうけて、グローバル化が進む企業活動の中で信頼性・安全性を確保するために取り組むべき課題について、本研究会として見解をまとめておくべきであるとの認識に至り、そのための検討を行った。その結果は、研究会活動報告第2報として、第40回年次大会にて報告をしている。論点はいくつかあるが、大事なポイントとしては、新技術の導入に伴い発生しうるトラブルをしっかりと予測するとともに、どのように製品が使われているのか、文化的な背景も踏まえつつ市場のモニタリングに注力することが重要である。こうしたことを実践していくためには、やはりQRISが有効であると考えられる。

リコール問題に対する取り組みがおおむねひと段落し、元の活動に戻り始めたところで、2011年3月の震災が発生した。伊藤の所属する大学も、比較的軽度ではあるが被害を受け、研究会としての活動は一時ストップした。なお、研究会の活動は行えていなかったものの、本学会ウェブサイトを設置された震災支援情報のページの立ち上げには、本研究会の主力メンバーが多数参画したことを述べておきたい。その間、2011年5月に本学会と応用統計学会の共催による「震災支援懇談会」が開催され、本研究会に対して、巨大イ

ンフラ (高速鉄道・高速道路等) への未然防止、ならびに、太陽光発電システムの信頼性と保全性について検討することが要望として挙げられた。応急的な対応を終えたところから研究会の活動を再開した。そこで討議されたテーマは、災害に負けずに、信頼性と安全性を確保するにはどうすればよいかというものである。本研究会としては、起きてしまったことへの批判ではなく、未然防止こそ重要であるとの視点に立ち、次に備えるための基本的な考え方の再構築などに取り組んできた。その検討状況の一端は、研究会活動報告第3報として第41回年次大会で発表してあるほか、2012年5月の第98回研究発表会でも、続編を第4報として発表している。ただし、取り組まなければならないことはまだ山積している。なお、学会を横断する組織である「横幹連合」でも、震災克服研究に関する取り組みが最近始まった。本研究会は、横幹連合の取り組みにも積極的に参画し、貢献していこうと考えている。

振り返ってみると、さまざまな情勢に振り回されて、常に後手後手となってしまう点が残念でならないが、学会員の皆様、ひいては社会全体に貢献できるよう、微力ながら今後も活動を継続していく所存である。会員の皆様のご協力が得られれば幸いである。

● 私の提言 ●

科学的先手 (SENTE) 管理のすすめ

神奈川大学経営工学科 中島 健一



統計的品質管理は、製造業はもとより、サービス業等を含め、あらゆる分野において現場の問題、経営的課題を顕在化し、それを解決する手法として体系化され、定着が図られてきました。

「ものづくりの基本は品質管理」であることは、ものづくりの現場を出発点にして顧客満足 (CS) を高めるために、全社的に展開してきたTQM活動において、実践的に示されてきました。しかしながらこれらの取り組みのほとんどは、結果を見て管理を行う「後手管理」となっています。

いわば、失敗してから慌てて処置をするような後手処理ともいえ、会員の皆さんも多かれ少なかれ、そのような状況に日々悩まされているのではないのでしょうか。

それに対して、これからの品質管理においては、現場を俯瞰的・科学的にとらえ、失敗しないように事前に有効な対策を立て、失敗が起こらないようにアクションをとる活動である「科学的先手管理」の活用を提言したいと思います。

従来の再発防止、未然防止、予防処置等と呼ばれているものと、「科学的先手管理」の大きな違いは、コストミニマムで品質 (Q)、コスト (C)、納期 (D1)、量 (D2)、環境 (E1)、安全 (S)、モラル (M)、教育 (E2) の8つの機能それぞれに対してKPI

および目標を設定し、失敗しないように事前に手を打つ管理の仕組みといえます。

「科学的先手管理」の具体的な内容については、本学会の関西支部研究会のメンバーを中心に、毎年、学会の研究発表会等において発表・討議を行っています。既に実際の企業においても、その導入効果が検証されており、さらにPDCAサイクルをまわしながら継続的な研究が進められています。

また、グローバル化するモノづくりにおいて、日本の国際競争力の新たな源泉として「先手」を“SENTE”とし、アジア諸国をはじめ多くの国々において導入されることにも期待したいと思います。その意味で、グローバルビジネスにおける先手管理においては、有効な手法として多種多様なものが求められるため、「千手」を考える必要があるのかもしれませんが。この分野に興味をお持ちの方は、是非、事務局までご連絡ください。

新規ワークショップ申請受付

研究開発委員会では、新規ワークショップの申請を受け付けます。奮って申請してください。特に、若手会員をリーダーとするワークショップを歓迎いたします。

ワークショップとは気軽に参加できる問題検討の場であり、学会員が現場ベースで交流し、産業界等の品質管理に関するニーズを理解し、サポートできるような場を提供し、問題解決を図ることを目的としています。

期 間：承認日から最長1年間

申請方法：「新規ワークショップ設置申請書」(様式204-4)をホームページよりダウンロードし、ご記入の上、電子ファイル送信と共に申請書を郵送で本部事務局宛にお送りください。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1

(社)日本品質管理学会 事務局 Eメール office@jsqc.org

申込締切：随時受け付けます。

ワークショップの申請と運営：

- 申請方法は2種類です。ひとつは、申請者が共同研究者 (学界・産業界等) を10人以内で事前に働きかけて集め、申請書に記入し提出する方法です。もうひとつは、申請者の情報と取り組みたい内容 (目的と計画・方法) のみを記入し、申請書に記入し提出した後に、共同研究者を募集する方法です。
- 費用は学会費からは支出しません。すべて受益者負担とします。
- 構成員全員が何らかの材料を持ち寄ることを原則とします。
- 会場場所は原則的には日科技連としますが、構成員の企業・大学などでも構いません。企業訪問による現場討論でも結構です。

2012年3月の入会者紹介

2012年3月22日の理事会において、下記の通り正会員15名、準会員1名、賛助会員3社の入会が承認されました。

(正会員15名) ○榎部 健文・浜野克哉・米澤 春彦・齋藤 清貴・藤本和孝・本末 佳久・阿部 圭志・嶋根安伸・西村 虎之助・内園 隆 (NEC フィールドイング) ○村上 哲也 (リソテック) ○深川 容三 (キヤノン) ○岡崎 健一 (日立製作所ひたちなか総合病院) ○玉置 研二 (日立製作所) ○飯塚 裕保 (積水化学工業)

(準会員1名) ○奥富 浩隆 (青山学院大学)

(賛助会員3社3口) ○デンソーテクノ
○トピー工業○帝人

正 会 員：2336名

準 会 員：114名

賛助会員：156社205口

公共会員：22口

第112回 講演会 ルポ

「医療のTQM七つ道具」 出版記念講演会

平成24年4月20日、本学会および全日本病院協会共催の「医療のTQM七つ道具」出版記念講演会が東京都産業健保会館大ホールで開催された。

練馬総合病院院長 飯田修平氏より、医療のTQM七つ道具概論の講演があり、その後、各執筆分担者からそれぞれ約15分ずつで以下の七つの道具が紹介された。

- ①業務行程図：日立製作所ひたちなか総合病院院長 永井庸次氏
 - ②FMEA、③RCA：練馬総合病院院長 飯田修平氏
 - ④QFD：TERA Consulting主幹 國枝 磨氏
 - ⑤対策発想チェックリスト、⑥対策分析表：中央大学教授 中條武志氏
 - ⑦ま、いいか防止メソッド：JUKI品質保証部 光藤義郎氏
- 特に、⑦の「ま、いいか防止メソッド (MIBM)」は、独自開発されたものである。従来であれば、個人の問題としてとらえられがちな不遵守を、組織としての問題と

とらえ、具体的に実践可能な取り組みに置き換える手法である。親しみやすいネーミングであるが、組織として問題に取り組む姿勢も問われる。難しいがおもしろく、奥深い手法であると感じた。

これらの手法の開発には、病院の管理者、医師、看護師、コメディカル、事務のほか、産業界からは経営者、品質管理実務者が、また、学術機関から品質管理研究者等が参加し、さまざまな観点から検討を重ね、開発に4年以上の年月がかかったそうである。その熱い思いがひしひしと伝わってくる講演会だった。

平日の昼間という時間帯ということもあり、参加者多数とはいかなかったが、質疑応答の時間には活発な討論がなされ、時間が足りなくなるほどの熱い議論が交わされた。「医療のTQM」と限定されたタイトルではあるが、他産業にも十分活用可能な内容であったと思う。

本講演会に出席された方々が中心となって、各職場でこれらの道具を有効に活用し、質改善に取り組んでいただけることを願ってやまない。また、残念ながら講演会に参加できなかった方々も、書籍を手にとって、職場の質向上活動に生かしていただきたいと思う。

小谷野 圭子（練馬総合病院）

行事案内

●第359回事業所見学会（本部）

テーマ：常に挑戦し続ける、おいしいシウマイ崎陽軒
—お客様のお腹だけではなく「心」を満たす老舗企業—
日 時：2012年6月28日(休)13：30～16：00
見学先：(株)崎陽軒 横浜工場
定 員：30名
※同業他社のお申し込みはご遠慮ください。
参加費：会 員2,500円 非会員3,500円
準会員1,500円 一般学生2,000円
※当日払い

「品質」誌、投稿論文の募集！

会員の方々からの積極的な投稿をお勧めします。投稿区分は、報文、技術ノート、調査研究論文、応用研究論文、投稿論説、クオリティレポート、レター、QCサロンです。

論文誌編集委員会

申込締切：6月26日(火)到着分まで
申込方法：本部事務局宛E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

●第350回事業所見学会（中部）

テーマ：愛知製鋼（鋼材・鍛造品）の品質改善活動
日 時：2012年7月2日(月)13：00～17：00
見学先：愛知製鋼(株)
知多工場・鍛造工場
定 員：30名
※同業他社のお申し込みはご遠慮ください。
参加費：会 員2,500円 非会員3,500円
準会員1,500円 一般学生2,000円
申込締切：6月13日(水)到着分まで
(定員になり次第締切)
申込方法：会員No.、氏名、勤務先、所属、連絡先を明記の上、中部支部事務局までお申し込みください。
詳 細：ホームページをご覧ください。

●第141回シンポジウム（本部）

テーマ：開発・設計における品質のつくり込みとプロセスの見える化—産学連携の視点からのアプローチ—

日 時：2012年7月9日(月)9：55～17：30
会 場：日本科学技術連盟
千駄ヶ谷本部 1号館3階講堂
定 員：150名
参加費：会 員 5,000円（締切後 5,500円）
非会員10,000円（締切後10,500円）
準会員 2,500円 一般学生3,500円
申込締切：2012年7月2日(月)
プログラム：
特別講演「産学連携強化による新付加価値の創出」
坂根正弘氏（JSQC会長、コマツ）
事例(1)：「QC的ものの見方・考え方に基づく開発・設計工程における品質の造りこみ」
小杉敬彦氏（トヨタ自動車）
事例(2)：「デジカメにおけるプロセス保証の質向上による短期開発の取り組み」
阪口知弘氏（リコー）
永原賢造氏（PMT）
事例(3)：「仕様の最適化とプロセスの見える化による後戻りのない製品開発の取り組み」
呉 宏堯氏（IHI）
事例(4)：「寿命設計思想の確立をめざして〈商用車〉」

鈴木孝幸氏、木内 保氏
(日野自動車)

事例(5): 「プロセスの弱点顕在化と
質の充実による事故撲滅」

永松陽明氏 (日立建機)

パネルディスカッション

申込方法:

ホームページからお申し込みできます。
<http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>

●第140回シンポジウム (中部)

テーマ: 新たな時代を見据えた新たな成長力の確保～パラダイムシフトの中、企業が継続的に成長するために大切なことは何か～

日 時: 2012年7月11日(水)13:00～17:00

会 場: 刈谷市総合文化センター
1階小ホール

定 員: 200名

参加費: 会 員3,000円 非会員4,000円
準会員1,500円一般学生2,000円

申込方法: 会員No、氏名、勤務先、所属、連絡先を明記の上、中部支部事務局までお申し込みください。

●第143回シンポジウム (本部)

テーマ: 品質マネジメントシステムの監査技法の向上とISO 9001の活用

日 時: 2012年7月21日(土)9:55～17:00

会 場: 日本科学技術連盟

千駄ヶ谷本部 1号館3階講堂

定 員: 150名

参加費: 会 員 5,000円 (締切後5,500円)

QMS部会員3,000円 (締切後3,500円)

非会員 10,000円 (締切後10,500円)

準会員 2,500円 一般学生3,500円

申込締切: 7月13日(金)

プログラム:

特別講演「MSS認証の社会的意義」
飯塚悦功氏 (東京大学)

研究活動概要

「第3期及び第4期活動の状況」

福丸典芳氏

(福丸マネジメントテクノ)

WG 1 研究報告「適合性を証明する審査の研究2」

平林良人氏、ほか2名

WG 7 研究報告「有効性を高める審査活動のための標準化」

野口三和人氏

WG 6 研究報告「経営に貢献するISO9001 推進の研究2」

及川忠雄氏

WG 3 研究報告「ビジネスプロセスにおけるQMSの位置付け」

武藤政春氏

WG 4 研究報告「経営に役立つ『自己適合宣言』の研究」

池田輝雄氏

WG 5 研究報告「次世代対応の第二者監査技法の研究」

川原啓一氏

まとめ 福丸典芳氏

申込方法:

ホームページからお申し込みできます。
<http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>

●第361回事業所見学会 (関西)

テーマ: 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター～最先端科学による古代遺産の調査研究と研究成果の活用について学ぶ～

日 時: 2012年7月27日(金)13:30～16:30

見学先: 奈良文化財研究所

埋蔵文化財センター

定 員: 30名

代議員・役員選挙告示

(社)日本品質管理学会第42年度～第43年度(2012～2014年)の代議員ならびに役員選挙を次の日程で行います。

投票用紙発送: 7月27日(金)～31日(火)

投票締切日: 8月31日(金)

当日消印有効

開 票 日: 9月4日(火)

参加費: 会 員2,500円非会員 3,500円
準会員1,500円一般学生2,000円
※当日払い

申込方法:

5月送付の参加申込書にご記入の上、関西支部事務局までお申し込みください。

●第99回研究発表会 (中部)

日 時: 2012年8月29日(水)

会 場: 名古屋工業大学

申込締切: 2012年8月22日(水)

申込方法:

中部支部事務局までE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

詳 細: ホームページをご覧ください。

●第100回研究発表会 (関西)

日 時: 2012年9月14日(金)

会 場: 大阪大学中之島センター

申込締切:

発表申込締切: 7月27日(金)

予稿原稿締切: 8月29日(水)必着

申込方法:

5月送付の申込要領をご覧の上、関西支部事務局までお申し込みください。

詳 細: ホームページをご覧ください。

行 事 申 込 先

JSQCホームページ: www.jsqc.org/

本 部: 166-0003 杉並区高円寺南1-2-1
日本科学技術連盟

東高円寺ビル内

TEL 03-5378-1506

FAX 03-5378-1507

E-mail: apply@jsqc.org

事務局携帯: 090-9128-7979

中部支部: 460-0008 名古屋市中区栄2-6-1
白川ビル別館

日本規格協会 名古屋支部内

TEL 052-221-8318

FAX 052-203-4806

E-mail: nagoya51@jsa.or.jp

関西支部: 530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25
日本科学技術連盟 大阪事務所内

TEL 06-6341-4627

FAX 06-6341-4615

E-mail: kansai@jsqc.org

事務局からのお知らせ

「JSQC選書 (日本品質管理学会監修)」好評発売中

●JSQC選書17 (132ページ)

書名: 問題解決法 - 問題の発見と解決を通じた組織能力構築

著者: 猪原 正守

●JSQC選書18 (160ページ)

書名: 工程能力指数 - 実践方法とその理論

著者: 永田靖・棟近雅彦

判 型 等: 四六判、並製本

定 価: 1,575円 (税込) → 学会員特典価格: 1,260円 (税込)

申込方法: ホームページより会員専用注文書をダウンロードし、FAXにてお申し込みください。E-mailでも受付しています。

http://www.jsqc.org/ja/kanren/jsqc_sensyo.html

申 込 先: 本部事務局 FAX 03-5378-1507 E-mail apply@jsqc.org

※書籍は請求書を同封して日本規格協会から発送いたします。